

地域の安全のために『一致**団結**！』

DAN!!!

宮崎県消防団だより「ダン!!!」

[Vol.18]

2023.3 “March”

写真：えびの市消防団防災バイク隊「レッドホーク」

特集 1

災害時に発揮される消防団の力

『地域の安心・安全を守る！』

特集 2

これからの消防団に不可欠な 2 つの力

『若い力&女性の力』

DAN!! NEWS

『消防団活動を支える家族を表彰』 etc.



消防防災関連情報 !!

宮崎県防災・危機管理情報

検索 宮崎県 防災



総務省消防庁のホームページ
<https://www.fdma.go.jp/>



地域の 安心・安全を 守る！

令和4年9月14日に発生した台風第14号。17日午前3時には大型で猛烈な強さまで発達し、18日午後7時頃、非常に強い勢力で鹿児島県に上陸した後、19日の朝にかけて九州を縦断しました。この台風による暴風と大雨によって、県内各地で甚大な被害が発生したのは記憶に新しいところです。今回は、このような災害時に消防団の力がいかに重要かを、美郷町消防団の動きにスポットを当てて紹介します。

まずは美郷町消防団について教えてください。

甲斐団長 美郷町消防団の定員は450名で、現在はそれを満たしています。令和5年1月現在の町の人口が4488名ですから、町民の1割が消防団員ということになります。

― 昨年の台風第14号での被害は相当なものだったそうですね。

甲斐団長 はい。降り始めからの雨量が1000ミリ近くに達し、町内各所で土砂崩れが発生しました。また、40戸で浸水被害も発生。台風が過ぎ去ってか

らも停電や断水が続いた地域があるなど、未曾有の災害となりました。正直なところ、ここまでの被害は予想していませんでした。

― 地震と違って、台風の場合は事前の対策が可能なわけですが、どのような対策を？

甲斐団長 17日の時点で各地区の自主防災組織と連携を図り、早めの避難を呼びかけていきました。避難行動要支援者がどこに住んでいるのかを把握できているなど、地域とのつながりを活かして必要なところの確かな声掛けができました。人的被害が、避難中にケガをされた方1名ですんだのも、そのおかげだと思っています。

― 台風は18日から19日にかけて猛威を振るいましたが、その間は何んかことをされていたのですか？

甲斐団長 台風の通過中は危険なので外で何かをしていたわけではなく、詰所に待機したり、避難所での活動に当たったりしていました。

― 台風が過ぎ去った20日の朝から地区内を巡回して被災状況を把握していたのですが、道が分断されていたり、携帯電話が一時的になかなかたりしてかなりの時間を要しました。

― 復旧活動にもかなりの時間と労力が必要だったそうですね。

甲斐団長 24日に町内すべてで孤立が解消されるまで、延べ6



話を聞いたのは

美郷町消防団
甲斐文雄団長

勤務している椎葉村の建設会社が令和2年の台風第10号で被災した経験から、「台風・大雨には早めの避難が第一」と語る。



60名が復旧・清掃活動を行いました。なかでも、孤立集落へ生活物資を届ける作業は、一杯に詰まったザックを背負って道なき道を歩くというハードなものでしたが、団員たちはしっかりと任務を遂行してくれました。

美郷町には消防本部や消防署があるわけではないので、地域の安心・安全は私たち消防団にかかっています。団員のみならずその点をしっかりと理解してことに当たってくれました。

―それは頼もしい限りですね。

きました。

―今回の台風災害への対応から見てきたことはありますか？

甲斐団長 令和2年の台風第10号災害時に、椎葉村の村長が、「うちには安全な場所は一つもない」と話していたのですが、今回、美郷町も同じなのだということが身に染みました。そんな場所だからこそ消防団の力は欠かせません。今後も、地域から信頼される消防団でありつづけられるよう頑張っていきたいと思えます。



甲斐団長 災害が少し落ち着いた頃に町民の方から電話があったんです。「消防団のみなさんがいてくれて本当に助かったので、ぜひみなさんにお礼を伝えてください」という内容でした。私たち消防団員としては当然のことをやっていただけなのですが、そういった言葉をいただけるとやはりうれしいですね。



女性だからこそ力になれることがある

まずはバイク隊について教えてください。

福満 災害が発生したときに市内各地の被害状況や安全確認などの情報を収集し、伝達するために結成されました。倒木や水害などで、車では行けないような場所でも、バイクならではの機動力を生かして活動できるのが強みです。

中村 現在、隊員は消防団員の中でバイクの免許を持っている11名が所属しています。

なぜ、バイク隊員に入ろうと思ったのですか？

福満 女性だからこそ力になれることがあると思ったからです。救助対象者が女性の場合、相手が女性じゃないと言にくいこと、伝わらないことがあると思うんです。そんな場面でお役に立てればと思って。好きなバイクの免許を生かすことができますしね。

中村 女性消防団をPRするためでもあります。私たちはバイク隊

員である前に女性消防団員でもあるのですが、団員の数が少なくても、その存在を知っている人も少ないと感じているんです。だから、女性バイク隊員として少しでも注目を集めることで、消防団のことを知ってもらって、女性団員が増えてくれればうれしいです。

これまでにどんな活動を？

福満 幸いなことに、災害救助や行方不明者の捜索といった活動は今のところありません。水害時に水源地の確認に行つたくらいですね。ただ、いつ何時出動する機会があるかもしれませんので、その

ときに備えて月1回の訓練を重ねています。

男性に交じつてのやりにくさはないですか？

福満・中村 それはまったくありません！

中村 それどころか、バイクにトラブルが起こったときに飛んできて対処してくれたり、飲みものやおやつを準備してくれたり、みなさん本当に女性にやさしいんですよ（笑）

最後に、これからの意気込みをお聞かせください。

中村 バイク隊員としては、今後大きな災害がなく、出動する機会がないことを祈るとともに、運転技術を磨き続けていくことです。

福満 女性消防団員としては、これまで主に高齢者宅を訪問してきましたが、今後は、幼稚園や小学校を訪問して、未来を担っていく子どもたちに向けた啓発活動を行っていきたいと考えています。まわりの大人を呼びに行ったり、救急車と呼んだり、幼稚園児や小学生であつてもその年齢なりにできることがあるはずですから。知っていることって大切なんですよね。

不可欠な2つの力

女性 の力

消防団員の数が増加しています。また、大学生など若い力の消防団員も、各地で学生を消防団員として採用しています。ここでは、女性と学生それぞれを代表し、『ヘッドホーク』女性隊員の福満康代さん、『消防団』の隊員であり、地元消防団の副団長として活躍する中村しのぶさんに話を聞きました。



訓練中の様子

えびの市消防団本部付部
(女性消防団)
福満 康代さん
中村 しのぶさん

お二人が所属している「宮崎大学
学生消防隊」について教えてください。
さい。

本田 宮崎大学学生消防隊は、「地
域の防災を担いたい！」という有
志が集まって2016年に発足し
たサークルで、現在は男子10名、
女子9名の計19名が所属していま
す。

どんな活動をしているのですか？

本田 大きく2つあって、まず1
つが夜警です。地元消防団の団員
さんと一緒に地域の見守りを行っ
ています。もう1つは、屋内消火
栓操法大会への参加です。年に1
度の大きな目標で、過去には優勝
した実績もあるんですよ。

ところで、お二人は消防団員でも
あるそうですね。

本田 そうなんです。僕たちだけ
ではなく、学生消防隊のうち8名
が消防団員としても活動していま
す。

これからの消防団に

若 い力 &

近年、消防団員が減少する中で女性消
防団員が増え、団員の平均年齢の上昇が進んでい
る。消防団活動への参加が強く期待されており、こ
れからの消防団活動への参加が広がっています。こ
れをきっかけに、えびの市消防団防災バイク隊『し
らぬ』と中村しのぶさん、『宮崎大学学生消防
隊』と本田拓哉さんと屋嘉部拓人さん

そんなにも!? 宮崎でも学生団員が
活躍しているんですね。しかしな
ぜ、消防団に？

本田 学生消防隊の先輩から、「普
段では体験できない経験ができる
し、絶対に今後の人生の糧になる
よ」と言われたのがきっかけです。

屋嘉部 私の場合は高校生の頃か
ら消防に対して「カッコいいなあ」
という思いがあつて学生消防隊に
入りました。消防団へはその流れ
でといった感じで、正直なところ
あまり深く考えていませんでした
(笑)

サークルである消防隊と違って消

防団の活動は大変なのでは？

屋嘉部 消防団員になるまでは漠
然と「きつそう」というイメージ
を持っていたのですが、実際はそ
れほど活動が多いわけでもなく、
楽しく活動できています。

本田 私の場合は学生消防隊長と
いう立場もあつて、地元消防団の
部長会議に参加しているのです
が、まわりがみんな大先輩なので
最初は怖かったです(笑)でも、
みなさん本当に優しくしてくれ
るので、今では思ったことを発言で
きています。

団員として活動することで、ご自

身の中で変化はありましたか？

本田 消防団には、「地
域のために何かをした
い」という人が多く、
そんな人たちと一緒に活
動するうちに、「地域に貢献
したい」という思いが一層強くな
りました。

屋嘉部 消防車で地
域を回っていると地
域の防災に貢献でき
ていることを実感で
き、それが普段の自信にも
つながっています。

本田 学生消防隊として活動する
だけでもいろいろと社会経験を積
むことができるのですが、消防団
員となってさらに地域と関わるこ
とで、より多くの学びや気づきを
得ることができています。以前、
先輩から言われた、「人生の糧に
なる」という言葉を実感している
ところです。若い人たちにはぜひ
同じ経験をしてもらいたいと思っ
ています。



屋内消火栓操法大会出場時の様子

宮崎市消防団 木花分団第7部
本田 拓哉さん (宮崎大学3年)
屋嘉部 拓人さん (同2年)





消防団活動を支える家族を表彰



消防団活動は、団員本人だけではなく家族の支えがなければ成り立ちません。そんなご家族のみなさまへ感謝の意を伝えるべく、特に長年にわたって団員活動を支えていただいているご家族16名に対して、河野知事から感謝状が贈呈されました。

感謝状が贈呈されたご家族を代表して、日南市消防団の井野元敏行分団長と奥様である真由美さんにお話を聞きました。

入団してしばらくは不安まみれ

日南市でガソリンスタンドを経営する井野元さんご夫妻。現在、日南市消防団吾田分団の分団長を務める敏行さんが消防団に入団したのは今から27年前のことで、真由美さんとはその2年前に結婚していました。

敏行さんは以前から消防団に関心があったこともあり、入団の誘いがあったときには積極的でしたが、真由美さんは不安が大きかったといえます。

「当時は消防団がどんな活動をしているのかほとんど知りませんでしたし、仕事と両立してやっていけるのだろうかという疑問もあったので、正直なところ不安が大きかったです。長女が生まれる直前だったということもありましたし」

入団後もしばらくの間は、敏行さんが活動に出るたびに真由美さんの心は落ち着きませんでした。

「まずは、台風や大雨の中、私が家を守らなければならないというプレッシャーですね。そして、そんな状況の中、外に出て行く主人の安全に対する心配です。当時は携帯電話がなくて安否の確認もできませんでした。そんなでしたから、入団当初は心配と不安で精神的にきつかったこともありました」

敏行さんは、そんな真由美さんのことをいつも心に掛け、出勤中でも可能であれば家の様子を見に帰るようにしていたのだそうです。

身をもって感じた消防団の頼もしさ

敏行さんの消防団活動に対して不安を感じ続けてい

た真由美さんでしたが、あるエピソードをきっかけに前向きに捉えられるようになりました。

「主人が消防団に入ってしまった頃に家を新築したんですけど、そのタイミングで大きな台風がやってきたんです。それはすごい風雨でした。うちも窓ガラスが割れるなど結構な被害があったのですが、在宅だった主人が消防団員としての経験と知識を生かして家と私たちを守ってくれたんです。本当に頼もしかったですね。」

その時に身をもって感じたんです。地域にとって消防団がいかに心強い存在であるのかを。それ以来、主人の消防団活動を応援できるようになりました。不安がなくなったと言えば嘘になりますけど」

健康だからこそ

今年で58歳になる敏行さんの消防団活動を27年間にわたって支えてきた真由美さんですが、これまで一番気を付けてきたことはやはり体だといえます。

「まずは本人が健康でいなくてはいけませんからね。一度体を壊したことがありますし、今は分団長という責任ある立場なので責任も大きく、仕事との両立が大変だと思います。何せ責任感の強い人ですから。だから毎日の食生活には特に気を遣っています」

敏行さんは、そんな真由美さんに、「いつも支えてもらってありがとう」と感謝の意を持って出勤しているのだそうです。

最後に、分団長として地域の安心・安全のために活動を続ける敏行さんへメッセージをいただきました。

「入団してこの方、愚痴一つ言うこともなく一生懸命に頑張ってきたのを見てきましたが、なかなかできることではありません。これからも体に気をつけて頑張ってもらいたいと思います」

私が消防団活動に従事できているのは職場のみなさんの理解と協力があるからこそ。みなさんへの感謝も忘れるわけにはいきません。



日南市消防団
井野元 敏行分団長・
真由美さんご夫妻



令和4年度 宮崎県消防大会



第32回宮崎県消防大会が
開催されました。



令和5年3月18日(土)、宮崎市清武文化会館ホールで第32回宮崎県消防大会が開催されました。第一部では、長年の消防・防災活動に功労のあった消防団員の方々に対する表彰等が行われました。第二部では、徳島市消防団の山本朋子さんによる女性ならではの消防団活動について講演が行われました。また、ラッパ隊による演奏披露会も3年ぶりに実施され、県内7消防団のラッパ隊が出演し、各隊とも軽快で力強い演奏を披露しました。



表彰を受ける団員の様子



河野知事による祝辞



徳島市消防団 山本朋子団員による講演



県内7消防団のラッパ隊による演奏会



宮崎市消防団



日南市消防団



三股町消防団



小林市消防団



綾町消防団



西米良村消防団



諸塚村消防団



井手審査員による講評

消防団だより「DAN!!」は紙だけではない!

電子ブックはもちろん。さらに読みやすくパワーアップ!!

紙 & 電子版: 消防団だより「DAN!!」特集ページ

WEB版: 消防団だより「DAN!!」特集ページ

DAN!!
宮崎県消防団だより「ダン!!」

SPECIAL ISSUE
地域防災に女性のパワーを!
宮崎県女性消防団員活性化大会
平成30年1月27日(土)、西郷村公民館で開催された大会。県内の女性消防団員が一堂に集り、日頃の活動や成果などの発表交流を行いました。今回は消防団員も多人数、「私たちの消防団員—みんなで作る絆!」をテーマに...

消防団のさらなるパワーアップへ
ドローン基礎訓練が行われました!
最近では新しい技術活用や防災意識の高まり。こうした活躍の消防団員が活躍する姿もあって、情報発信が欠かせません。そこで、平成30年秋から消防団員が活躍の場となる消防団員活動報告会「DAN!!」がスタートし、...

MOVIE
消防団でこんなことをするの? 災害時に活躍する消防団員たち
災害時に活躍する消防団員たち
消防団員たちの活躍の姿
消防団員たちの活躍の姿
消防団員たちの活躍の姿

BACK NUMBER
DAN!! Vol.1
DAN!! Vol.2
DAN!! Vol.3
DAN!! Vol.4
DAN!! Vol.5
DAN!! Vol.6
DAN!! Vol.7
DAN!! Vol.8

ARCHIVES
インタビュー
動画もあります



現場さながらの訓練で実践力アップ!! 潜入!!消防署・消防団の合同訓練



WEB記事へ!!

過去のアーカイブも
WEB記事として閲覧可能です

WEBやスマホでは
縦スクロールの方が
断然、読みやすい!



この訓練は、消防団と消防署が合同で訓練を実施することで実際の現場に近い環境を作り出し、火災発生時の行動について団員が共通認識を持つ目的で行われたものです。



消防団だより「DAN!!」
特設サイトへ
スマホやタブレットはこちらから。



消防団員、募集中!



宮崎県内の消防団では、18歳以上で消防団活動に参加できる人を募集しています。団員の年齢層は幅広く、また職業は自営業者、サラリーマン、学生、主婦など様々な人達が活躍しています。入団希望者は、お住いの市町村役場又は消防本部へお問い合わせください。

女性の団員も増えています!

一人暮らしの高齢者宅を訪問しての防火点検や子どもを対象にした防災教室のほか、応急手当の普及指導など、細やかな視点を活かしての防災啓発などを行っています。

この8年間で
35%増!!

消防団活動には
女性のチカラが欠かせません!

令和4年
432名
(令和4年4月1日現在)



平成27年
319名

消防団:
アrikamo!?

消防団員募集中

消防団に関する詳しい情報はWEBで
宮崎県消防団だより「DAN!!」
消防団員募集ページ

総務省消防庁



地域の安全のために『一致団結!』

DAN!!

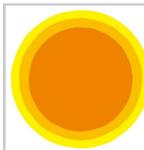
宮崎県消防団だより「ダン!!」



[Vol.18] 令和5年3月発行

【発行】
宮崎県総務部 危機管理局 消防保安課
〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号
TEL0985-26-7627 / FAX0985-26-3130

消防団オフィシャルウェブサイトはこちら→
『和牛消防団』の動画も公開中!



日本の
ひなた
宮崎県